

コースコード：CI-DCMDS

税込価格：528,000円 (税抜価格：480,000円)

日数：4日間

前提条件

このコースを受講する前に受講者が習得しておく必要がある知識およびスキルは次のとおりです。

- ・データストレージのハードウェアコンポーネントの基礎知識
- ・SCSIやファイバーチャネルなどのストレージプロトコルの基礎知識
- ・イーサネットやIPなどのネットワークプロトコルの基礎知識 ・ルーティングやスイッチングの基礎知識

受講対象者

- ・CCNP Data Center認定の取得を目指す方
- ・シスコ認定スペシャリスト - Data Center SAN Implementationの取得を目指す方
- ・ストレージネットワークの設計者
- ・ストレージネットワークの管理者
- ・ストレージネットワークの業務に携わるエンジニア

コース概要

このコースでは、Cisco MDS9000シリーズスイッチを導入して高可用性でスケーラブルなストレージネットワークを構築し、Cisco MDS9000シリーズスイッチの管理とトラブルシューティングを行うための方法について学習します。VSAN、RBAC、NPV、ファブリックセキュリティ、ゾーニング、FCIPトンネル、NX-APIによる自動化、Slow-Drain Analysisなどの機能の導入方法と活用方法について、ラボ演習を通して学習します。また、ファイバーチャネルドメイン、ファームウェアアップグレード、ゾーンマージなどに関するトラブルシューティング手法についても学習します。

目的

- ・Cisco MDSプラットフォームの概要を説明する
- ・Cisco MDSスイッチをプロビジョニングする
- ・Cisco MDSプラットフォームの主要機能を説明する
- ・Cisco MDSスイッチの自動化を実装する
- ・Cisco MDSスイッチとプラットフォーム機能を実装する
- ・ファイバーチャネルドメイン、ゾーンとゾーンマージ、スイッチのブートとファームウェアのアップグレードに関する問題のトラブルシューティングを行う

アウトライン

- ・Cisco MDSプラットフォームの紹介
- ・Cisco MDSスイッチのプロビジョニング
- ラボ 1: MDSの初期設定の実行
- ラボ 2: Cisco DCNMのセットアップ
- ラボ 3: DCNM-SANクライアントとDCNM Cisco Device Managerの調査
- ラボ 4: RBACの設定と使用
- ラボ 5: DCNM-SANクライアントおよびCisco Device Managerを使用したRBACの設定と使用
- ラボ 6: VSANとファイバーチャネルドメインの管理
 - ・Cisco MDSスイッチを使用したファイバーチャネルファブリックの構築
- ラボ 7: インターフェースの設定



- ラボ 8: デバイスエイリアスとゾーニングの設定
- ラボ 9: FCIPトンネルとFCIPの高可用性の設定
- ラボ 10: SAN ExtensionのためのIVRの設定
- ラボ 11: NPVとNPIVの設定
 - ・ Cisco MDSファブリックの自動化
- ラボ 12: NX-APIによる自動化の調査
 - ・ Cisco MDSのモニタリングとレポート
- ラボ 13: Cisco DCNMを使用したSANのモニタリング
 - ・ 一般的なCisco MDSの問題のトラブルシューティング
- ラボ 14: Cisco DCNMを使用したSlow-Drain Analysisの実行